

国道2号(台道～鑄銭司間)の新規事業採択時評価手続き着手に係る知事コメント

国道2号は、西日本の大動脈であり、広域的な物流・人流を促進し、本県の産業力や観光力を強化するとともに、国土強靱化や県民の安心・安全を確保する上で重要な幹線道路である。

しかしながら、台道～鑄銭司間は、その前後と比べ、片側一車線しかないことによる慢性的な渋滞や、一部区間で歩道がないなど多くの課題を抱えており、その解消が急務であることから、地元期成同盟会とも連携しながら、これまで機会あるごとに、国に対し、その早期整備を訴えてきたところである。

こうした中、本日、国土交通省から「令和6年度予算に向けた新規事業採択時評価手続きの着手について」が発表され、当該区間が「一般国道2号 台道・鑄銭司拡幅」として、令和6年度新規事業化候補箇所に選定された。

このことは、当該区間の新規事業化に向けた大きな前進であり、大変喜ばしく思っている。

今後、学識経験者で構成される国の委員会の審議を経て、新規事業化が実現することを強く期待する。

事業化の上は、早期の開通を目指し、地元山口市、防府市と緊密に連携し、事業の円滑な推進に向けた環境整備等に努めるとともに、引き続き、国への要望活動や地元の機運醸成などの取組を精力的に進めていく。

令和6年3月1日

山口県知事 村岡 嗣政